

明けまして  
おめでとうございます



教育長 加藤 正和



本年も国東市教育委員会は、職員一体となって「教育の里づくり」の先頭に立ち、「子育て・教育・文化財分野」において、「未来を担う人・文化をつくる」ために努力することをお誓い申し上げます。

さて、新しい年というものの、昨年とわずか一日の違いだけに、何だか気分が違います。昨年と違う一年になるように心の中で願います。昨日の自分と違う自分になることを夢見ます。

子どもたちだってそうです。勉強をわかりたいと思っている子どももいます。自分を愛えたいと思っている子どももいます。本当の自分をわかってほしいと願っている子どももいます。

どの子どもも国東市にとっては「宝」です。私たちの後継者です。悪いことは悪いとたしなめ、教え導くことは人生の先輩としての役目です。「教育の里づくり」は学校だけでは成し得ません。家庭や地域の力もお借りしながら、みんなで国東の「宝」を、教え、論し、ほめ、叱り、守っていくことが、「教育の里づくり」の原点だと思えます。

本年も市民の皆さま方のご支援・ご協力を、心よりお願い申し上げます。

## コミュニティバス堅来線の路線変更を決定 国東市地域公共交通会議

国東市地域公共交通会議が11月28日に開催され、国東町堅来地区を運行するコミュニティバス「堅来線」が、新たに「鳴」地域を経由することになりました。なお、堅来線の運行時刻に変更はありません。

また、会議ではコミュニティバス・コミュニティタクシーの利用状況や、今年度の公共交通の利便の向上や、利用促進の取り組みについても報告されました。

平成26年度上半期コミュニティバス・タクシー「おでかけ号」の利用状況は次の通りです。



コミュニティバス（4月～9月の乗車数の集計）

運行区域	運行曜日	路線名	平均乗車数 (対前年度比)	
国見町・国東町	月	熊毛・長瀬線	4.0人	(▲0.2人)
	火	大熊毛・小熊毛線	3.9人	(0.1人)
	水	鬼籠・櫛海線	3.6人	(▲0.3人)
	木	櫛来線	6.4人	(▲1.1人)
	金	向田・浜陽線	19.3人	(0.1人)
	月	深江・寺山線	11.7人	(1.2人)
	火	堅来線	8.2人	(1.0人)
	水	赤松線	9.7人	(0.9人)
	木	小原線	2.9人	(▲0.6人)
	金	治郎丸線	4.1人	(▲0.6人)
安武蔵町	月	山口線	5.7人	(▲0.6人)
	火	油留木線	3.7人	(▲0.3人)
	水	志和利線	6.5人	(1.0人)
		小城線	0.3人	(▲0.6人)
	全路線 平均		7.5人	(0.5人)

  

運行区域	運行曜日	路線名	平均乗車数 (対前年度比)	
安武蔵町	木	吉松線	8.0人	(▲0.7人)
	金	松ヶ迫・小ヶ倉線	14.0人	(▲0.3人)
	全路線 平均		7.5人	(0.5人)

  

運行区域	運行曜日	路線名	平均乗車数 (対前年度比)	
国見町	水	小高島線	2.0人	(0.4人)
	金	高良線	5.3人	(0.2人)
	種田線	1.6人	(▲0.4人)	
安武蔵町	水	狭間線	2.4人	(0.0人)
	木	橋上線	1.1人	(▲0.2人)
	金	小俣線	5.1人	(0.5人)
全路線 平均		2.0人	(▲0.8人)	

※「平均乗車数」は、朝に町の中心部に向かう下り便と、正午前後に町の中心部を出発する上り便との1往復で算出しています。

地域の交通手段の確保と地球環境を守るため、公共交通を利用しましょう！

【問合せ先】 政策企画課 政策企画係 ☎0978-72-5161



## 女性に対する暴力をなくす運動啓発キャンペーン

11月29日

国東市男女共同参画推進委員会は「女性に対する暴力撤廃国際日」(11月25日)の取り組みとして、国東警察署と協力し女性に対する暴力根絶のための啓発活動を実施しました

平成24年内閣府調べによると、交際相手からの暴力被害経験者は約10人に1人です。早めの相談が問題解決への第一歩です。



【問合せ先】 政策企画課 男女共同参画係 ☎0978-72-5161

## 第4回国東市

### 教育の里づくりへの集いレポート

昨年10月29日、「国東市教育の里づくりの集い」をアストくにさきで開催し、地域の方々や保護者、学校や行政関係者など412名が参加しました。

オープニングでは国東中学校音楽部による箏曲演奏、そして開会式後には竹田津小学校の「目標協働達成」の取り組みについて報告が行われました。引き続き、「子どもの自立心を育てる勇気づけのコミュニケーション」と題して、大分大学の古城和敬副学長による講演が行われ、保護者や教師の勇気づけの言葉かけにより、子どもを認めたり自信を持たせたりしていくことの大切さを話されました。



▲講師の古城和敬副学長は武蔵町出身

参加者の皆さんには、今後の子育て、教育のあり方について主体的に捉え、関わっていくことの重要性を理解していただけたと思います。来年度は節目の第5回となりますので、参加を広く呼びかけ、内容もより充実したものにしていきたいと考えています。



【問合せ先】 学校教育課 ☎0978-73-0066